



市立病院だより

平成24年秋号

題：「錦鏽の秋」 撮影地：北海道大雪高原沼 撮影者：達見 毅 様（フォトクラブ中間）ご提供

- 目次
- 退院調整看護師について・・・1
 - 人工透析について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・2
 - 糖尿病教育入院について・・・3
 - 新任医師の紹介／臨床工学技士について／外来診療案内・4

退院調整看護師について

退院調整看護師 三船由美子



患者さまが、退院後も安全で安定した在宅療養を継続するために様々準備をすることが「退院支援・退院調整」です。

退院後は、在宅を希望しているのか、施設への入所がいいのか、通院は可能なのか、介護する家族はいるのか等、患者さまの取り巻く状況も含め、適切な対応をしていくことが求められます。退院後も安全で安定した生活を送れる環境づくりには、入院中に退院後の支援を用意しておくことが重要になります。

そこで行うのが、療養指導や栄養指導、薬の服薬指導などです。ほかにも、リハビリ、住宅改修や福祉用具の準備、在宅で受けられるサービスの提供などを患者さま1人1人に対して行います。

当院では、入院から退院までの間にご本人、ご家族、医師、看護師、理学療法士、ソーシャルワーカー、ケアマネージャー、退院調整看護師等を含めての話し合い（カンファレンス）を行っています。そして、地域、医療機関、介護施設、事業所などとも連携して患者さまに合った環境作りのお手伝いをさせていただいています。

人工透析について



透析センター部長
稲田 良郁

はじめに

2011年末の調査で、日本で透析を受けている方はついに30万人の大台にのりました。400人に1人の割合です。中間市で考えると人口が45,000人くらいですから、112.5人いる計算になります。当院だけで、約60の方が透析を受けておられるので、ほんとに身近な疾患と言えます。1990年に10万人を超えてから、ほぼ1年毎に1万人ずつ増えています。最長透析歴は43年7ヶ月と、現在では、生活も生命予後も昔とは比べものにならないくらい改善し、透析導入後30年、40年と長生きする方も少なくありません。

原因疾患について

透析導入の原因疾患の内訳ですが、1980年頃は慢性糸球体腎炎が60%でダントツ1位でしたが、現在は糖尿病性腎症が44.2%で1位であり、2位の慢性糸球体腎炎の20.4%を大きく上回ってダントツ1位です。

つまり、生活習慣病である糖尿病が、透析の最大の原因になっていることが、現代の特徴と言えます。

日米の比較

海外に目を向けると、日米とも透析患者数は人口の約0.2%ですが、治療成績は日本の方が断然良いです。透析導入して5年後に日本では6割の患者さんが生存しているのに対して、アメリカでは6割以上の患者さんが亡くなっているのです。

おわりに

ネガティブに捉えられがちな透析ですが、心臓病による心不全や、肝臓病による肝不全など、最終的には移植しかないような疾患と違って、「腎臓病には“透析”という確立した治療法がある」、そして「生命予後がよくなっている」という事実を、ぜひ知っていただきたいと思えます。

さらに、透析技術や透析液は年々進化しており、透析導入前に近い生活を送ることも可能になっています。このことを理解して、「もっと元気に生きていくための治療」として透析を前向きに受けとめてほしいですね。

中間市立病院 人工透析センター



糖尿病について一緒に学びましょう！



総看護師長 松本 千代

糖尿病でお困りの方はいませんか？

近年、食生活の欧米化や交通手段の普及による運動不足などによって、年々糖尿病の方が増えています。糖尿病はほとんどの場合、自覚症状がありませんが放置すれば全身の様々な臓器を蝕んでしまう怖い病気です。しかし、糖尿病を正しく理解し適切に血糖コントロールし、合併症の予防ができれば決して恐れることはありません。

糖尿病教育入院

当院では糖尿病教育入院を**3日間コース**と**10日間コース**で行っています。医師・看護師・薬剤師・栄養士・臨床検査技師・理学療法士がチームを組み、それぞれが専門的な立場で指導を担当し、糖尿病の知識から食品交換表の使い方、献立の立て方、食事療法のコツ、そして運動の行い方など知識を学ぶと同時に糖尿病の状態や合併症を把握するための検査も行います。患者さまが糖尿病と上手に付き合い、健康的な生活を送るためのお手伝いをさせていただきます。



糖尿病教室の講義内容

担当	テーマ
医師	●糖尿病について ●合併症と治療目的 ●生活習慣の改善
看護師	●日常生活の注意点 ●フットケア
薬剤師	●薬物療法について ●個別の服薬指導
栄養士	●食事療法について ●食品交換表の使い方 ●会食、栄養相談
臨床検査技師	●自己血糖測定と必要な検査
理学療法士	●運動療法について

- 教育入院は予約が必要ですが、講義はどなたでも参加できます。
- 教育入院、講義日程等の詳細は内科外来にお尋ねください。

新任医師の紹介

はじめまして。
田中健一と申します。
10月1日から
こちらの病院で勤務
することになりました。



内分泌と糖尿病を専門にしています。
中間地域のために精一杯
頑張りますので、何かお困りの
ことがあれば遠慮なくお申し付
けください。

臨床工学技士について

臨床工学技士 大道 洋平

臨床工学技士とは、医療従事者であり国家資格です。仕事の内容としては、病院にある医療機器を扱う仕事をしています。病院では、色々な医療機器を使いますが、今までは、それらを操作する職種の人がいませんでした。

実際には、その医療機器の会社の人、医師、看護師等が機器を操作していました。しかし、近年、医療機器が多様になってきたため、その専門職として、1987年に臨床工学技士ができました。また、できて25年と比較的新しい資格です。臨床工学技士の仕事の定義は、「医師の指示のもとに、生命維持装置の操作及び、保守点検を行うことを業とする者をいう」となっています。ここで言う、生命維持管理装置とは、具体的には、人工透析装置、人工心肺装置、人工呼吸器、血液浄化装置等をいいます。全国的にみると、人工透析の仕事が多いようです。



当院でも、現在2名の臨床工学技士が、主として人工透析の業務に従事しています。

中間市立病院 外来診療案内

平成24年10月1日現在

- 専門外来：(1)腎・糖尿病 (2)血液 (3)循環器 (4)膠原病
(5)呼吸器 (6)消化器 (7)脊椎・脊髄外科 (8)スポーツ
(9)睡眠時無呼吸：1、3週 / 一般：5週

受付時間：7時00分から
診療開始時間：8時30分から

		月	火	水	木	金	土	
内 科	午前	新患	当番医	当番医	当番医	当番医	当番医	
		一般・生活習慣	織田 田中	川原	/	織田	/	当番医
		専門外来	瓜生 (1)	鈴鹿 (1)	稲田 (1) 津田 (3)	鈴鹿 (1) 高木 (1) 葛城 (2)	瓜生 (1) 須貝 (1) 永田 (3)	折口 (3)
	午後	専門外来	/	/	/	高木 (1) 瓜生 (1)	福與 (4) 小田 (5)	/
		泌尿器科	/	/	/	久保	久保	久保
		耳鼻科	/	/	/	当番医	当番医	当番医(9)
外 科	午前	一般	江口	鳥巢	鳥巢	九大	江口	当番医
		消化器	/	/	本間 (6)	/	/	/
	午後	一般	石村	藤谷 (1, 3, 5週)	石村	石村	山中 (1, 3, 5週)	当番医
		専門外来	力丸 (7)	古川 (2, 4週)	力丸 (7)	力丸 (7)	森 (2, 4週)	森
	午後	泌尿器科	久保	久保	久保	久保	森山	久保
		耳鼻科	/	/	/	当番医	当番医	当番医(9)

中間市立病院

〒809-0014 福岡県中間市蓮花寺3丁目1番7号
TEL (093) 245-0981 FAX (093) 245-2816
<http://nakamacity-hospital.jp/>

休診日 毎週日曜日・祝祭日
毎月第2、4土曜日

病院長 瓜生 康平

編集後記

秋号には掲載できませんでしたが、新たな取り組みとして「転倒予防講座」を始めました。新年号に掲載を予定しています。(M.N)

携帯で読み取ると電話番号が表示されます。

